

川口高等技術専門校の概要

1 沿革（職業能力開発促進法に基づく職業能力開発校）

- 昭和27年 「埼玉県川口公共職業補導所」として仲町に開所
- 昭和36年 現在地に移転
- 昭和61年 「埼玉県立川口高等技術専門学校」に改称
- 平成 3年 鉄筋コンクリート造4階建て校舎を竣工、情報処理科、空調システム科、ビル管理科ほかを設置
- 平成16年 機械科(デュアルシステム)を設置

2 特色

- **求職者訓練** 多様な訓練コース(若者向け、中高年向け、企業と連携したデュアルシステム) 高い就職率 情報処理科:100%、空調システム科:100%、機械科:100%、ビル管理科:81.8%
- **在職者訓練** 在職者のスキルアップ、企業のニーズに対応した様々な技能講習

3 設置訓練科（求職者向け訓練） ◎ 4 訓練科 総定員200名

情報処理科（2年訓練）

○定員 30名(延べ定員60名)

—実践的な学習で実力あるプログラマ・システムエンジニアの育成—



(Javaプログラミング実習)

- 一人1台のパソコンによる環境でプログラム作成からシステム設計まで学びます。
- プログラミング言語のC言語、Java、Python,さらにはコンピュータネットワークや運用技術なども学びます。
- 「知っている」ではなく「書ける」知識と技術レベルを目指して、2年生では数多くのプログラム制作に挑戦します。

空調システム科（2年訓練）

○定員 30名(延べ定員60名)

—現場で生かせる技術を身に付けた空調技術者の育成—

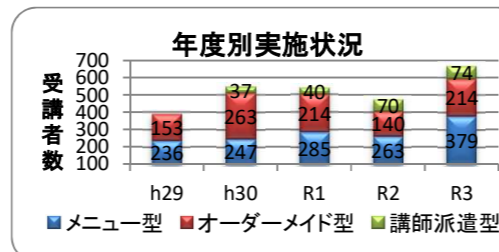


(業務用エアコン点検の実習)

- エアコンを中心とした冷凍・空調機設備の据付工事・点検・修理の技術を身に付けます。
- 電気工事士、冷凍機械責任者、ボイラー技士などの国家資格を取得。合格率は全国平均を大きく上回っています。
- 冷凍機やボイラーなどの多くの機械に触れて工事の実践力を身に付け、ビル設備全般に対応できる力を養います。

4 在職者向け訓練実績（令和3年度）

- メニュー型 : 18講座 379人
- オーダーメイド型 : 28講座 214人
埼玉県産業振興公社「マシニングセンタ基礎講習」など
- 講師派遣型 : 18講座 74人
- 講座の例 資格取得 : 第二種電気工事士、介護福祉士など
スキルアップ : AutoCAD、SolidWorksなど
企業のニーズに対応
汎用旋盤基礎研修、マシニングセンタ基礎研修
各種技能検定受検対策(外国人技能実習生向けを含む)
- 川口商工会議所との連携による「事業所内IT人材育成カリキュラム」(令和3年度～)



機械科(デュアルシステム)（1年訓練）

○定員 20名(10名×2回)

—デュアルシステム訓練で実践的なものづくり技術者の育成—



(汎用旋盤の加工実習)

- 8か月の校内訓練に加え4か月の企業実習により、実践的な技術・技能、社会性を身に付けます。
- 校内訓練では、金属加工の基礎である汎用旋盤・フライス盤の技術を習得します。
- さらにNC旋盤やマシニングセンタなど最新の工作機械、3DCADなどの技術も習得します。

ビル管理科（6か月訓練）

○定員 30名×2回(延べ定員60名)

—空調・電気・給排水などの建築設備・保守管理技術者の育成—



(電気設備の実習)

- ビル管理の仕事に必要な資格(電気工事士、ボイラー技士、消防設備士など)を取得します。
- 訓練では、実際の設備機器を出来るだけ体験して実践力を身に付けます。
- また、ポリッシャーなどを使った清掃実習も行い、就業できる範囲を広げています。

5 川口市・小中学校との地域連携

- 近隣中学校(青木中学校)との地域ふれあい授業
ものづくり体験教室(塩ビ管笛の製作)
- 近隣小学生対象
夏休みワークショップ(真空・冷凍に関する体験、説明)
- 市主催イベントへの参加
川口市市産品フェア(専門学校各訓練科、技能講習のPR)



ものづくり体験教室(青木中学校)



夏休みワークショップ(小学生対象)



川口市市産品フェア